

## かみくげ 恐竜の里新聞

令和5年1月20日 発行：上久下恐竜の里づくり部会

第144号  
上久下地域  
自治協議会  
0795-78-0001

## 新年のご挨拶

上久下地域自治協議会  
会長 野垣 克己

上久下地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。穏やかな年明け、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は自治協議会の諸活動に対してご支援・ご協力頂いていることに感謝申し上げます。

振り返りますと、コロナウィルス感染は終息を見ることなく感染者の増減を繰り返し、予期せぬ長期にわたる感染対応で各種の行事が中止・規模縮小を余儀なくされ、計画した事業も十分に催行できない寅年でありました。

又、昨年は山南町が過疎指定を受けた年であり、上久下地域も多くの皆さんに協力を頂き、『将来の地域の姿』をまとめ、丹波市に要請したところであり、今後も引き続き粘り強く課題の解決に努めていきたいと思っています。(恐竜の里新聞 第140号 令和4.7.20発行参照)

一方、上久下地域老人クラブ連絡会で「かにカニ日帰り旅」の催行を頂き、定員を上回る予約者がありました。年末恒例の「一発花火」も多くの参加者を集ってもらいました。そ



して、ユネスコ無形文化遺産登録になった檜皮葺・匠の技をPRするために、元氣村での「檜皮葺あずまや」建設に三年掛けるワークショップはいよいよ今年が完成の年となり、お披露目イベントも盛大に行いたいと考えています。コロナ禍ではありますが、色々な事業に尽力を頂いた地域の皆さんに感謝申し上げます。

今年も経済の低迷・諸物価の値上がりが予想され、少子化の進む時代変貌の年かもしれません。新生山南中学校開校へと夢を乗せ、コロナ禍ではありますが感染防止対策を取りながら一つの事業再開に向けて、伝統・文化の継承と共に卯年として飛躍したいと思います。自治協議会への更なるご協力をお願い申し上げ、この一年が皆様に「幸」多い年となることをお祈り申し上げます。

## 新しい年を迎えて

上久下自治会会長  
会長 村上 俊明

上久下のみなさま、新年あけましておめでとうございます。みなさまにはつつがなく新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。日頃より、各集落の自治会活動にご協力いただき、心より感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが猛威を振るい始めてからもう丸3年にもなりました。弱毒化しているとは言え、3年もたっているにもかかわらず現在もまだまだ安心できる状況にはありません。これまで地域のみんなが交流しながら、長年にわたってゆったりと穏やかに流れてきた上久下のコミュニティも、ここ数年、気付かない間にとってもゆがめられて来たように感じます。このような状況にみなさまも、とても歯がゆい思いをなさっていることと存じます。

一方では、みなさまの集落でも、各自治会長や役員の方々のご尽力で、少しでも本来の和気あいあいのコミュニティを取り戻すために、感染対策をとりながら地道な取り組みや努力がなされているところです。上久下のみなさま、本年はよりいっそう上久下本来のコミュニティを取り戻せるように、ご協力をいただければありがたいと存じます。

本年もどうか良い年になりますよう、みなさまのご健康とご多幸をお祈りいたします。

## 新年のご挨拶

企業組合元氣村かみくげ  
代表理事 村上 正昭

新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスの感染症の影響が続くなか、「元氣村かみくげ」をご利用いただきありがとうございます。コロナ禍におきましても、利用客は減少することなくご支援くださいました。お礼申し上げます。

企業組合「元氣村かみくげ」の発足以来、今年度で13期目を迎えることができました。施設も少しずつ経年劣化による破損等がみられるようになってきています。今後、地域の拠点として存続させるには、計画的に改修が必要となります。その財源を確保するためにも、地域の皆さんにもっと利用していただき売り上げにご協力をお願いいたします。スタッフにも高齢化が目立ちます。地域を盛り上げるためにも一人でも参加協力していただくとともに、交流の場として活用して下さるようお願いいたします。

コロナ禍の影響も薄れて、今年は活動の場が広がることを期待いたします。





今回で6回目となる、かみくげ宿（土田正博宿長）の一発花火が12月18日に上久下小学校東側で打ち上げられました。当日は今冬一番の冷え込みでしたが、メンバー達は早くから1,500本の竹灯籠を並べて会場の準備をしてくれました。しかし、竹灯籠のロウソクが全部点灯した時に強風が吹き始め、その後も風は止むことがなく全て消えてしまいました。さらに低温の影響でドローンを飛ばすことができず、上久下小児童が考えてくれた竹灯籠のクリスマスツリー図柄を、上空から撮って巨大スクリーンに映して楽しんでもらう予定でしたが、残念ながら映像を見ることができませんでした。そんなアクシデントの中でも夜7時ジャストに花火が始まり、一瞬だけと思っていたら45発もの花火が次々と打ち上がりました。小学校グラウンドや下滝付近から見ていた人々からは「今年は花火の数多くて迫力があった。毎回工夫して地域を盛り上げてもらい感謝しています」との



一発花火盛大に打ち上げ

夜空に大輪の花が何度も咲きました



声が聞かれました。関係者の皆さん、寒いなか本当にお疲れさまでした。



竹灯籠が全灯した時の写真

元氣村かみくげの  
看板更新

元氣村かみくげの食堂棟に掲げている「丹波竜の里」の木製看板が老朽化し、一部が剥がれかかる状態になっていました。この看板は、平成30年にパナソニックエコリレージャパンの人たちによって一度修復してもらった経緯があり出来れば残しておきたいものでしたが、このままでは落下の危険もあるため業者に依頼してアクリル製に作り直してもらいました。立体的に作られているため見た目は以前と変わりませんが、耐久性があり来場者にも安心して過ごしてもらおうことができるようになっていきます。もう一つの「元氣村かみくげ」の看板はまだ健在です。



一新された「丹波竜の里」の看板

2月の予定

- ◆ 2月4日(土)  
地域づくりセンター掃除(青田・篠場)  
午前9時～
- ◆ 2月10日(金)  
恐竜の里づくり部会  
午後7時30分～
- ◆ 2月16日(木)  
自治会長会  
午後7時30分～
- ◆ 2月25日(土)  
地域づくりセンター掃除(阿草)  
午前9時～
- ◆ 2月14日(火)・28日(火)  
恐竜時計台のカフェ  
午前10時～